

## 苗立枯病の予防について。

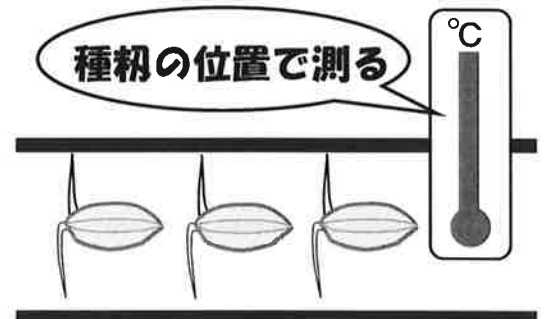
は種作業も始まり、忙しい日々となってまいりました。

「は種」～「出芽揃い」までは、苗の素質が決まる重要な時期です。

ポイントをおさえた温度・水管理で、出芽の揃った健苗育成に努めましょう。

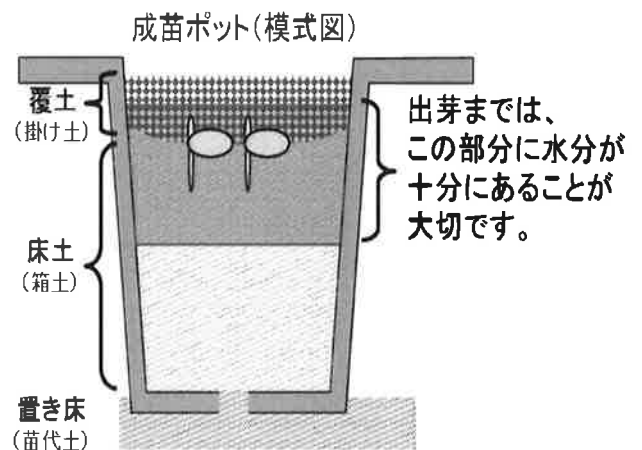
### 1 温度は種籾のところで…

- (1) 「は種」から「出芽揃い」までの適温(種籾の位置で測った温度)は30～32℃、地温の最低は10℃以上を確保します。



- (2) 曇った日でも急に「日差し」があるとハウス内の温度は急激に上昇し、高温障害(ヤケ)の被害を受けることがあります。

ハウス内あるいはベタ掛け直下の地温が35℃以上にならないようにハウスの換気・開放など適切に対処してください。



### 2 今年の注意点

ここ数日、低温で、日照不足傾向の日が続いています。は種後、地温が上がらず、発芽揃いに日数が6日以上長くかかるような場合には、ピシウム菌による苗立枯病が心配されます。

この苗立枯病は、発芽揃後1～2葉期頃にスポット状に生育の悪い部分が発生します。

発芽が揃った後、最初のかん水時か、なるべく早い時期に、下記薬剤をかん注すると発生を予防することができます。

薬剤名	病害虫名	防除時期	希釈倍率	使用量
タチガレエー スM液剤	苗立枯れ病 ピシウム フザリウム	播種時 または 出芽後	500～ 1000倍	成苗ポット苗 300ml/箱 中苗マット苗 500ml/箱